2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	健康運動実践指導者対策実技 20t223／20s228	担当教員 （実務経験）	今井　由美子　・　髙田　涼介 有 ☐　無 ☑		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実技	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	健康運動実践指導者検定合格に向けて、陸上運動は、レジスタンストレーニング及びエアロビックダンス指導の基礎から学び、水中運動は、水中レジスタンストレーニング及び水中ウォーキングの基礎から学び、指導実践ができるようになる。				
到達目標	健康運動実践指導者実技試験を合格するレベルで指導できる。				
テキスト・参考図書等	プリント、DVD				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	40%	試験は、模擬試験での評価とする その他は積極的な受講姿勢等で評価する
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	10%	
	その他	50%	

履修上の留意事項	スタジオ・プールでの指導実践が中心となる。健康運動実践指導者に必要な指導能力を理解し、指導者としての資質向上を目指し取り組んで行きましょう。皆さん自身の指導実演能力が問われる資格です。この授業で100%合格できる自信をつけられるよう学んでください。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	(共通)ガイダンス	(共通)授業の進め方について説明・検定内容の説明、ステップの確認
	2	(陸上)ガイダンス (水中)水中ウォーキング・レジスタンス運動	(陸上)カウント取り、各ステップの分解方法の説明・キュー出し (水中)DVD視聴および内容の把握・暗記、陸上での実演
	3	(陸上)指導練習 (水中)水中レジスタンス運動①	(陸上)グレープバイン・Vステップ・前後4(個人練習) (水中)プールでの実演練習
	4	(陸上)指導練習 (水中)水中レジスタンス運動②	(陸上)グレープバイン・Vステップ・前後4(ペア練習)、レッグカール・ヒールタッチ・Aステップ(個人練習)　(水中)プールでの実演練習
	5	(陸上)指導練習 (水中)水中レジスタンス運動③	(陸上)レジスタンストレーニング5種目　指導及び留意点 (水中)プールでの実演練習
	6	(陸上)指導練習 (水中)水中ウォーキング①	(陸上)レジスタンストレーニング5種目　指導及び留意点 (水中)プールでの実演練習
	7	(陸上)ルーティンの指導練習 (水中)水中ウォーキング②	(陸上)前4後4＋Vステップ＋グレープバイン＋レッグカール(個人練習・ペア練習) (水中)プールでの実演練習
	8	(陸上)プログラム作成 (水中)水中ウォーキング③	(陸上)各自作成→チェック (水中)プールでの実演練習
	9	(共通)指導練習	(陸上)各自のプログラムの指導練習 (水中)水中ウォーキング・レジスタンス運動の通し練習
	10	(共通)指導練習	(陸上)各自のプログラムの指導練習　特性の説明作成 (水中)水中ウォーキング・レジスタンス運動の通し練習
	11	(共通)指導練習	(陸上)各自のプログラムの指導練習　まとめの作成 (水中)水中ウォーキング・レジスタンス運動の通し練習
	12	(共通)指導練習	(陸上)各自のプログラムの指導練習　練習→暗記 (水中)水中ウォーキング・レジスタンス運動の通し練習
	13	(共通)模擬試験	(共通)検定試験と同様の形で実技試験の実施
	14	(共通)模擬試験	(共通)検定試験と同様の形で実技試験の実施
	15	(共通)模擬試験	(共通)検定合格基準に満たない学生対象の再試験実施

授業科目 （科目ID）	健康運動実践指導者対策実技 20t223／20s228	担当教員 （実務経験）	髙田　涼介 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー、鍼灸師
対象年次・学期	2年・前期	担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
授業形態	実技		
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PHⅢ／TR・IN・CO・SBⅡ　コース

授業科目（科目ID）	エアロビック指導員対策実技 20t327／20s229	担当教員 （実務経験）	大嶋　春香 有 ☑　無 ☐　スタジオインストラクター		
対象年次・学期	3年／2年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	エアロビック指導員取得に向け、実技試験と指導実習試験を合格できるレベルになる。				
到達目標	実技試験と指導実習試験を合格できるレベルになる。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料等配布する。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	小テストは実技試験、指導実習試験を実際に行い、 その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。
	レポート	%	
	小テスト	80%	
	提出物	%	
	その他	20%	

履修上の留意事項	基礎をしっかり覚え、身に付け指導できるようにする。まずは自身が楽しんで学ぶこと

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	実技試験対策①	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート
	2	実技試験対策②	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート
	3	実技試験対策③	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート
	4	実技試験対策④	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート
	5	実技試験対策⑤	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート
	6	実技模擬試験①	実技試験
	7	実技模擬試験②	実技試験
	8	指導実習試験対策①	エアロビック技能検定5級Dパート
	9	指導実習試験対策②	エアロビック技能検定5級Dパート
	10	指導実習試験対策③	指導実習
	11	指導実習試験対策④	指導実習
	12	指導実習試験対策⑤	指導実習
	13	指導実習模擬試験①	指導実習試験
	14	指導実習模擬試験②	指導実習試験
	15	指導実習模擬試験③	指導実習試験

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PHⅢ／TR・IN・CO・SBⅡ　コース

授業科目（科目ID）	水泳指導員対策実技 20t326／20s230	担当教員 （実務経験）	今井　由美子 有 ☐　無 ☑		
対象年次・学期	3年／2年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	各種泳法の基本技術を向上させ、指導員として模範となる泳ぎを習得する。効率よく泳ぐ方法を習得し、各種泳法のタイムアップを目指すし、潜行・日本泳法等の新しい技術や安全水泳の技術を習得する。水泳指導員の取得を目指す。				
到達目標	泳法を改善することで、より速い個人メドレーを泳ぐ事が出来る。				
テキスト・参考図書等	水泳指導教本・プリント				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	小テスト、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。
	レポート	%	
	小テスト	80%	
	提出物	%	
	その他	20%	

履修上の留意事項	各種泳法等の技術習得は、様々な指導をする上での自信になりますし、幅広く活用できます。最終目標は個人メドレーのタイムを切る事です。体調を万全にして授業に臨んでください。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	能力確認①	個人メドレータイム計測・基本技術確認・横泳ぎ
	2	能力確認②	タイム計測・基本技術確認・横泳ぎ
	3	各種泳法スキルアップ①	Fr／スピードトレーニング／潜行／横泳ぎ
	4	各種泳法スキルアップ②	Ba／スピードトレーニング／潜行／横泳ぎ
	5	各種泳法スキルアップ③	Br／スピードトレーニング／潜行／横泳ぎ
	6	各種泳法スキルアップ④	Fly／スピードトレーニング／潜行／横泳ぎ
	7	各種泳法スキルアップ⑤	IMターン／スピードトレーニング／潜行／横泳ぎ
	8	各種泳法スキルアップ⑥	IMターン／スピードトレーニング／潜行／横泳ぎ
	9	各種泳法スキルアップ⑦	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み
	10	各種泳法スキルアップ⑧	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み
	11	各種泳法スキルアップ⑨	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み
	12	各種泳法スキルアップ⑩	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み
	13	タイム測定	個人メドレータイム測定
	14	泳法確認	個人メドレー、潜行、横泳ぎ、飛び込み
	15	泳法確認	個人メドレー、潜行、横泳ぎ、飛び込み

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅱ 20t226／20s231	担当教員 （実務経験）	田口　清輝 有 ☑　無 ☐　トレーニング指導者		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数（1回180分）	15	時間数	60時間
授業目的	スキー・スノーボードにおける、基礎技術・知識の習得と向上を目指す。 スキー・スノーボード検定受験により、資格取得を目指す。				
到達目標	冬山における、怪我の予防、ゲレンデマナー及びリスクマネジメントを理解し、指導者としての資質を身に付ける。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料等配布する。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポート・提出物等の状況を総合的に評価する その他は受講姿勢等で評価する
	レポート	10%	
	小テスト	%	
	提出物	10%	
	その他	80%	

履修上の留意事項	宿泊研修という決まりの中で、自己管理、時間管理を徹底して行う事。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	事前説明会	目的、注意事項伝達
	2	1日目午後レッスン開始	各班に分かれ道具の特性・理論等を学ぶ
	3	1日目ミーティング	1日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する
	4	1日目ナイター練習	1日目に学んだことを復習する。
	5	2日目午前レッスン開始	1日目より難易度の高い事を学ぶ
	6	2日目午後レッスン開始	1日目より難易度の高い事を学ぶ
	7	2日目ミーティング	2日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する
	8	2日目ナイター練習	2日目に学んだことを復習する。
	9	3日目午前レッスン開始	2日目より難易度の高い事を学ぶ
	10	3日目午後レッスン開始	2日目より難易度の高い事を学ぶ
	11	3日目ミーティング	3日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する
	12	3日目ナイター練習	3日目に学んだことを復習する。
	13	4日目午前レッスン開始	各班に分かれ、検定へ向けてレッスンをする
	14	4日目検定	今まで学んだことを踏まえて検定に臨む
	15	4日目ミーティング	4日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナ／スポーツ健康　学科
AT・MT・PHⅢ／TR・IN・CO・SBⅡ　コース

授業科目（科目ID）	就職実務 20t333／20s233	担当教員 （実務経験）	濱田　光 有 ☐　無 ☑		
対象年次・学期	3年／2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	1. 就職決定に向け自分自身を振り返り、客観的視野で自己分析を行う。 2. 就職活動の流れを理解し、円滑な活動へと繋げる。				
到達目標	社会人としての考え方や対応手法を学び、それらを説明・表現することができる。				
テキスト・参考図書等	就職サポートテキスト				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポートおよび提出課題、その他（受講姿勢、受講態度等）を総合的に評価する。
	レポート	30%	
	小テスト	%	
	提出物	30%	
	その他	40%	

履修上の留意事項	就職実務のテキスト及びプリント等を配布し授業を行う。、ここ数年の新卒就職戦線は売手市場の傾向にありますが、その反面、雇用形態などの多様化も進み、仕事選びも難しくなってきています。まずは自分自身を知り、社会傾向を知って悔いのない就職活動をする為に、客観的に自己評価を行うよう取り組んでください。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	ガイダンス	就活スケジュール・就活マナー・心構えなど、就活に向けた基本的な流れを学ぶ
	2	就活対策（1）	エントリーシート（求職票）の書き方
	3	就活対策（2）	履歴書の書き方①（練習用紙への記入）
	4	就活対策（3）	履歴書の書き方②（本用紙への下書き）、線引き→下書き→チェック→本書き　完成品1枚回収
	5	自己を知る	学生と社会人の違いを把握　自己分析・自己PRの作
	6	就活対策（1）	求人票のチェック方法および志望動機の作成
	7	就活対策（2）	PC室にてリクナビ、マイナビの説明、登録作業
	8	就活対策（3）	企業へのアポイントの取り方、各提出書類の準備方法
	9	選考試験対策（1）	選考試験の種類と対策
	10	選考試験対策（2）	面接試験対策（基本動作・身だしなみ・事前準備）
	11	選考試験対策（3）	面接試験対策（成功例と失敗例、質問内容）
	12	選考試験対策（4）	面接試験対策（グループディスカッション、集団面接）
	13	就職に向けて（1）	受験報告書の作成、提出
	14	就職に向けて（2）	内定礼状の作成
	15	就職に向けて（3）	就職への心構え

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PHⅢ／TR・IN・CO・SBⅡ　コース

授業科目（科目ID）	情報基礎 20t332／20s234	担当教員 （実務経験）	石井　克 有 ☑　無 ☐　新聞記者(フリーライター)		
対象年次・学期	3年／2年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	30	時間数	60時間
授業目的	ビジネスの場面に必要な、PC操作と情報の扱い方を学習する。				
到達目標	資料作成およびデータの整理と活用にむけて、Word・Excelの基本操作方法を理解し、場面に応じて使用できる。				
テキスト・参考図書等	【テキスト】 実教出版企画開発部編（2016）『30時間でマスター　Windows10対応　Word & Excel 2016』, 実教出版				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	50%	試験、その他（受講姿勢、受講態度等）を総合的に評価する。
	レポート	0%	
	小テスト	0%	
	提出物	30%	
	その他	20%	

履修上の留意事項	学生の理解度に応じて、授業の進捗速度と度合いを変更する場合がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	オリエンテーションと導入	講義の進め方・試験方法・評価等の説明とガイダンス
2	Windows10の基礎	Windowsの基本操作
3	Wordの基本操作①	文字入力・印刷・保存
4	Wordの基本操作②	基本操作とタイピング練習①（400字）
5	Wordの基本操作③	基本操作とタイピング練習②（600字）
6	Wordの基本操作④	基本操作とタイピング練習③（800字）
7	Wordの活用①	表・グラフの作成
8	Wordの活用②	ビジネス文章の作成①（編集機能Ⅰ）
9	Wordの活用③	ビジネス文章の作成②（編集機能Ⅱ）
10	Wordの活用④	ビジネス文章の作成③（ビジュアル）
11	Excelの基本操作①	データ入力の基礎
12	Excelの基本操作②	ワークシート編集の基礎
13	Excelの基本操作③	ワークシートの書式設定
14	Excelの基本操作④	グラフ・表の作成
15	前期のまとめ	Word・Excelの使用に関する前期のまとめ

	16	Excelの実践①	関数の適用①（オートSUMボタンの利用）
	17	Excelの実践②	関数の適用②（順位付け、四捨五入、判定）
	18	Excelの実践③	関数の適用③（条件による集計、表の検索）
	19	Excelの実践④	データベース機能
	20	Excelの実践⑤	データの集計
	21	Excelの活用①	実習問題①
	22	Excelの活用②	実習問題②
	23	Excelの活用③	実習問題③
	24	Word・Excelの応用①	PowerPointとの関連性
	25	Word・Excelの応用②	インターネットの活用と情報倫理
	26	Word・Excelの応用③	インターネットを利用した情報の活用
	27	Word・Excelの応用④	スクリンショット・PDFファイルの作成
	28	Word・Excelの応用⑤	Word・Excelを使用したデータの整理と活用①
	29	Word・Excelの応用⑥	Word・Excelを使用したデータの整理と活用②
	30	後期のまとめ	Word・Excelに関する後期のまとめ

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目 （科目ID）	外国語 20t235／20s235	担当教員 （実務経験）	未定 有 □　無 □		
対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修（SB）・選択	単位数	4単位
授業形態	講義・実技	授業回数（1回90分）	30	時間数	60時間
授業目的	外国語を通じて、コミュニケーション能力を養う。				
到達目標	外国語で自分の意見や考えを述べることが出来る。				
テキスト・ 参考図書等					

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	50%	試験、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	50%	

履修上の 留意事項	テキスト、プリントを使用し話すことを主とした授業。楽しみながら触れていきたいと思います。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	基本会話	挨拶、自己紹介
	2	基本会話	人を紹介する
	3	基本会話	自分のしたいことQ&A
	4	基本会話	自分の好きなことQ&A
	5	基本会話	自分のできることQ&A
	6	日常会話フレーズ	話かける、お祝いを言う
	7	日常会話フレーズ	励ます、なぐさめる
	8	日常会話フレーズ	意見を言う、苦情を言う
	9	日常会話フレーズ	曖昧に答える、困ったとき
	10	日常会話フレーズ	嬉しい、楽しい、腹立たしい
	11	日常会話フレーズ	感動する、おどろく
	12	日常会話フレーズ	お店に入る、注文する
	13	確認	前期内容の確認
	14	確認	前期内容の確認
	15	前期試験	試験実施
	16	場面別会話	レストラン
	17	場面別会話	ショッピング
	18	場面別会話	道案内
	19	出生地について説明	日本について話す
	20	出生地について説明	日本について話す
	21	出生地について説明	日本について話す
	22	出生地について説明	日本について話す
	23	海外旅行	旅行で使えるフレーズ
	24	海外旅行	旅行で使えるフレーズ
	25	海外旅行	旅行で使えるフレーズ
	26	海外旅行	旅行で使えるフレーズ
	27	将来について	自分の将来を話す
	28	確認	後期内容の確認
	29	確認	後期内容の確認
	30	後期試験	試験実施

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目 （科目ID）	コミュニケーションⅡ 20t232／20s236	担当教員 （実務経験）	未定 有 □　無 □		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	1年次からの応用として、コミュニケーションを通じて、課題克服への積極的挑戦から自信に繋げる。				
到達目標	自主的に話題性をもって、人に関わり、立ち位置を確立できるようになる。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて、資料を配布する。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポート 20% 提出物　20% その他　60%（受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%）
	レポート	20%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	60%	

履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	就職活動に向けて①	履歴書の記入方法
	2	就職活動に向けて②	自己分析 自分の強み、弱さ、今後どのように成長していくか、どのような職業人でありたいか
	3	就職活動に向けて③	業界研究 進みたい分野においての調査
	4	就職活動に向けて④	就職情報サイトの利用方法
	5	面接試験に向けて①	心構え、様々な面接試験について
	6	面接試験に向けて②	入退室、面接試験体験①
	7	面接試験に向けて③	入退室、面接試験体験②
	8	一般常識①	漢字（読み・書き）
	9	一般常識②	丁寧語、敬語
	10	一般常識③	挨拶、接遇
	11	一般常識④	マナー、一般常識（応用）
	12	一般常識⑤	ペア対話、グループ対話
	13	まとめ①	確認テスト（読み・書き・丁寧語・敬語）
	14	まとめ②	確認テスト（挨拶・接遇）
	15	まとめ③	確認テスト（マナー・一般常識応用）

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目 （科目ID）	カレッジイベントⅡ 20t233／20s237	担当教員 （実務経験）	未定 有 □　無 □		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	イベントを楽しく成功させる為の方法をディスカッションを通じ企画する事を目的とする。				
到達目標	誰もが楽しめるイベントを目指す。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料を配布。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポート 20% 提出物　20% その他　60%（受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%）
	レポート	20%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	60%	

履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	カレッジイベント内容①	イベントの内容説明
	2	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定
	3	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認
	4	イベント実施	スポーツ大会
	5	振り返り	レポート作成、提出
	6	カレッジイベント内容②	イベントの内容説明
	7	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定
	8	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認
	9	イベント実施	スポーツフェスティバル
	10	振り返り	レポート作成、提出
	11	カレッジイベント内容③	イベントの内容説明
	12	役割分担	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者の決定
	13	リハーサル	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者　当日準備
	14	イベント実施	学園祭
	15	振り返り	レポート作成、提出

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
PHⅡ／TR・IN・CO・SBⅡ　コース

授業科目（科目ID）	ジュニアスポーツ指導実習 20t230／20s238	担当教員 （実務経験）	古本　真希 有 ☐　無 ☑		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	選択（PHⅡ）／必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	30	時間数	60時間
授業目的	幼児へのスイミングレッスンを計画→実施→反省を行うことで、指導技術を習得する。また、実際に幼児に携わることでスイミング技術だけではなく、幼児へのスポーツ指導も学ぶ。				
到達目標	グループワークを通して、インストラクターの役割への理解。実習を通して、レッスンの計画方法の立案、子ども達への対応ができる。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料等配布				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポート・提出物の内容や期日がしっかり守られ、提出されたら評価する。 その他は指導案作成中や指導中の姿勢で評価する。
	レポート	20%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	60%	

履修上の留意事項	指導計画案の作成や反省会は教室で実施し、グループワークを中心に進めます。プールでの班別指導実習が中心です。実習後には反省→日誌の記入→提出となります。初回は教室でオリエンテーションを行います。水に慣れていない幼児も多いので、計画の段階から責任感を強く持って授業に臨んでください。実習が始まれば、毎回が本番となります。常に緊張感を忘れず、実習を行ってください。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	オリエンテーション／指導計画の作成	オリエンテーション／指導計画・指導案作成
	2	指導計画の作成	指導実習計画・指導案作成
	3	指導計画案の予行演習	指導技術（補助・道具の利用方法）の練習
	4	指導計画案の予行演習	指導技術（補助・道具の利用方法）の練習
	5	指導計画案の作成・見直し	指導実習計画・指導案見直し
	6	指導計画案の予行演習	指導実習の練習・指導案見直し
	7	指導計画案の予行演習	指導実習の練習・指導案見直し
	8	指導実習	幼稚園A①－1
	9	指導実習	保育園実習予定
	10	指導実習	幼稚園A①－2
	11	指導実習	保育園指導実習予定
	12	指導実習	幼稚園A①－3
	13	指導実習	保育園指導実習予定
	14	指導実習	幼稚園A②－1
	15	指導実習	保育園指導実習予定
	16	指導実習	幼稚園A②－2
	17	指導実習	保育園指導実習予定
	18	指導実習	幼稚園A②－3
	19	指導実習	保育園指導実習予定
	20	指導実習	幼稚園A③－1
	21	指導実習	幼稚園B①
	22	指導実習	幼稚園A③－2
	23	指導実習	幼稚園B②
	24	指導実習	幼稚園A③－3
	25	指導実習	幼稚園B③
	26	指導実習振り返り	幼稚園AB実習反省まとめ
	27	指導実習振り返り	幼稚園AB実習反省まとめ
	28	実習	保育園指導実習予定
	29	実習	保育園指導実習予定
	30	指導実習振り返り	全体まとめ

授業科目 （科目ID）	ジュニアスポーツ指導実習 20t230／20s238	担当教員 （実務経験）	千保　大聖 有 ☑　無 ☐　トレーニング指導者
対象年次・学期	2年・前期	担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
授業形態	実習		
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐　無 ☐